

ケガをしている動物を見つけたら知らせてね



センターでは、野生動物について「知る・伝える・保つ・護る」活動をしています。ケガをした動物を保護して、野生に帰すために治療やリハビリをしているんだって。



野生動物の保護について、一緒に学ぼう！

スタート！

鳥が大好きです！



教えてくれるのは、福島県野生生物共生センターの増子博さん。



自然環境や動物の保護に関心があるという樹さんと千尋さん。将来は鳥や自然に関わる仕事をしたいと、日々勉強しています。



はげがたくさん！じっくり観察することができます。



ハヤブサってカッコイイ！

ゆめかなエール

今回は「自然環境を守る」仕事

子どもたちの“ゆめ”を、その道のスペシャリストが教えます。

今回は、柳津町の渡部樹さん(8歳)、本宮市の後藤千尋さん(8歳)の“ゆめ”にエールをおくります。

2人とも自然環境のことをよく勉強していて、びっくりしました。

フィニッシュ！



特別にトビの健康診断の様子を見学させてもらったよ。ちゃんと餌を食べているか体重を量ったり、体をさわって病気がケガがないかを確認したりしました。
※通常は中に入っている見学はできません

おぼね尾羽はなんぼあるのかな？



興味津々！

野生動物管理員 佐久間 朝弓さん
専門獣医師 稲見 健司さん

大好きな鳥について教えてもらい、夢がぐっと身近になりました！

自然環境を守る仕事をしたい！

野鳥の研究者になりたい！

ワークショップで「食物連鎖*ツリー」を作ったよ。いろいろな生物が支え合う「生物多様性」を実現するには、海や山など自然環境を守ったり、生態系を保護したりすることが必要なんだね。

※自然界における「食べられる-食べる」関係のこと



※取材協力：福島県野生生物共生センター(大玉村)

ゆめかなエールではみんなのゆめを募集中！
詳しくは11ページを見てね★